

平成26年度優良PTA文部科学大臣表彰 被表彰団体

・石榑小学校 育友会 (いしぐれしょうがっこう いくゆうかい)

いなべ市立の全校児童301名、PTA会員237名(保護者217名、教師他20名)の小学校である。

毎週日曜日、体育館・図書室等の学校施設を開放し、週末の児童の居場所づくりを行っている。全PTA会員が当番を組み、子どもたちの見守りを行っている。

毎月第3日曜日には、「地域清掃作業日」と位置付け、保護者、児童、地域ボランティアの参加による、学校及び学校周辺の清掃作業を実施している。

ミシン作業支援や読み聞かせボランティアなどの学習支援を行う「ぼちぼち応援団」や児童の登下校の安全確保のための「見守り隊」を地域住民とともに組織し、日常的に活動している。

また、地域住民の4分の1にあたる1300人が参加する「石榑の里まつり」の実行委員を務め、自治会や老人会等とともに、まつりの運営・催しに参加している。

このように、PTAが自主的・主体的に、学校・地域を愛する児童の育成に資する取組を進めている。

・桑名市立正和中学校PTA (くわなしりつせいわちゅうがっこうPTA)

全校生徒510名、PTA会員490名(保護者453名、教師37名)の中学校である。

PTA通信「正和」を年2回発行しPTA活動を会員に周知するとともに、行事等のたびに通信を発行している。

「あいさつ運動」は、毎月、月初めの日に、PTA地区委員・本部役員・教師・地域の方の協力で行われている。

地域の方々と共に、「防災」という同じ目的意識をもって、「地域合同防災訓練」を実施し、「災害図上訓練」「防災講話」「炊き出し訓練」を行った。

また、「正和中学校区合同関係者会議」を年2回開催し、地域を代表する80名程が集まり、「地域で育てる地域の子」を合い言葉に、子どもの健全育成について話し合いを行っている。

このように、PTAが自主的・主体的に、学校と地域をつなげ、健全な生徒の育成に資する取組を進めている。